

壬生野地域まちづくり協議会
〒519-1424 伊賀市川東 4539 番地の 4
壬生野地区市民センター内
Tel: (45)8900 ・ Fax: (45)8901
E-mail tokimeki@ict.ne.jp
URL http://www.mibunone.net



去る 5 月 29 日(金)いがまち公民館ホールにおいて、2009 年度いがまち同和教育研究会総会が開催されました。

いがまち同和教育研究会は、部落を完全に解放する正しい民主主義の理解と実践に努めるとともに「同和対策審議会答申」の具体化を求め、部落差別をはじめ、あらゆる差別のない地域の建設に貢献することを目的とした民間団体で、219 名の会員が出席し、総会並びに会員研修が開催されました。

総会では、亀山会長から旧市町村単位で活動中の研究会の合併について説明がありました。「現在、6 つの研究会が連絡協議会を設立し、個々に活動していますが、2010 年 4 月に合併する予定です。しかし、地域によって意識の差がある為、合併しても当面は、地域ごとの取り組みを継承していく予定です。」とのことでした。

会員研修は、「あなたとわたし、ちがうからステキ」(まちづくりの中で考えたいこと。)と題して総本山知恩院常任布教師で小杉の「長泉寺」の住職でもある角出誠堂さんから「講演頂きました。様々な具体例を出しながら、わかりやすいお話でした。」

いがまち同和教育研究会「総会」開催される。

幸せとは 2 つあり、ひとつは福。自分が評価する自分が幸せかどうかというものは、もつひとつは徳。他人が評価する他人を幸せにしているかどうかというものです。この徳をつけることが「人格の陶冶」といい、人権同和教育を通してやさしく暖かい人になることが人権・同和教育の最終目的ですとされていました。また「まちづくりは、まちなみづくりとまちびとづくり。家の座敷がきれいになっても、住んでいる人が変わらなければ、家は変わらない。」など端的で核心に迫るお話でした。

自分の中の差別心を見つめ、更に研鑽に努めたいと感じました。

文責：人権・同和委員長 山本真司

(同和対策審議会答申：昭和 36 年 12 月 7 日内閣総理大臣は当該審議会に対して「同和地区に関する社会的及び経済的諸問題を解決するための基本的方策」について諮問した。審議会は、同和問題の早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題であるとの認識に立ち、昭和 40 年 8 月 11 日、同和問題の認識、同和対策の経過、同和対策の具体案などを内閣総理大臣に答申した。)

【陶冶とつや】生まれついた性質や才能を鍛え練り上げること。

2009 年度 第 1 回 解放講座の開催案内

いがまち人権センターでは、市民の人権・同和問題研修の場として「解放講座」を開催しています。今年度は、「社会的弱者の人権」を主テーマとして、年 4 回の講座を予定しており、第 1 回目の講座が次のとおり開催されます。ご近所お誘い合わせのうえ、ご参加下さい。

開催日時 7 月 10 日(金)午後 7 時 30 分
開催場所 いがまち人権センターホール
演 題 「ぼけ」ても心は生きている ～認知症の理解と人権～
講 師 社団法人認知症の人と家族会代表理事 高見国生さん



(「ぼけ」という言葉は認知症患者を蔑視する言葉ですが、講演の内容上、使用していますので、ご了承下さい。)

健脚を競いました。

6 月 20 日(土)健康の駅長さんと健康福祉専門委員会が共催で『あじさいウォーキング』を行いました。朝から雨も心配されましたが、70 名のご参加をいただき、市民センターから滝川に沿って歩き、川西、阿弥陀寺を通り、ヤマギシズム春日山実践地西口の道路脇のあじさいを愛でながら中央広場へ行きました。

昼食はヤマギシズムの食堂でカレーをいただきました。休憩後、実践地内を見学させていただき、北出・深田から市民センターへ帰着しました。

子どもから高齢者の方まで皆無事に 7km 歩くことができました。ご参加下さいました皆様方並びにご協力をいただきましたヤマギシズムさんありがとうございました。



オレオレ詐欺伊賀市で発生!!

6 月 16 日上野桑町、四十九で警察官を語る不審電話が連続発生しました。我が地区においても多分に発生のおそれがあります。伊賀警察の「 」とか三重県警の「 」と語り、あなたの個人情報流出しています、通帳を落としていませんかなどと話しかけてくるそうです。

不審な電話があれば、「所属、氏名」などを確認し、最寄りの警察、交番に通報して下さい。

まちづくり協議会実行委員会委員長紹介

次の方々をお願いすることになりました。地域皆様方のご支援ご協力をお願いします。(敬称略)

窓口運営実行委員会	川端 俊昭	地域防犯実行委員会	草山 靖雄
地域防災実行委員会	(未定)	人権研修実行委員会	山本 真司
地域イベント実行委員会	(未定)	広聴広報実行委員会	奥井 周璽

編集後記

水田の水管理に向かう山辺の道を歩いていると今年も咲いていました。それは、香りが日本に自生の花の中では例外的ともいえるほど甘く濃厚で、風貌も豪華で華麗な『ササユリ』です。発芽から開花までには少なくとも 5 年以上かかるそうです。大切に育てたいですね。



ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。

壬生野地域まちづくり協議会広聴広報委員会 TEL: 45 - 8900

共に運動をとおして健康増進と親睦を図りました。

川東 6月7日(日)、川東区活動センターで「若葉まつり」を開催。このお祭りは、田植えも終えたこの時期、区の行事として毎年6月第1日曜日の「農休み」に、区民運動会と若葉まつりが隔年ごとに行われています。

当日、会場の広場では指導者2名のもと、子どもやお年寄りらが参加して「忍にん体操」がおこなわれ、また、飲食コーナーでは、組長さんや女性の会による焼きそばや豚汁、豆腐田楽、カキ氷などが、また、活動センター内では餅つきが行われ、出来上がった草もちが振る舞われました。

この日、早朝少し曇っていましたが、その後さわやかな晴天に恵まれ、子ども連れの若い方からお年寄りの方まで休日のひとつを大勢の区民が楽しく会話や飲食で親睦を深めていました。

《忍にん体操：伊賀流忍術の発祥の地、伊賀市で忍者の軽やかな動きなどを取り入れた「創作健康体操」です。》



西之澤 6月7日(日)朝から、どんよりと曇って小雨もパラパラ、準備中も気が気でない天候で心配しましたが、午後は初夏を感じる暑さと好天で、94名の参加のもと区民運動会が開かれました。

綿菓子をはお張る子ども、ポップコーンを「おいしい」と喜び、ポーン菓子の音にびっくりしながらも、楽しく食べている子ども、大人もビールやお酒を片手に「玉いれ」や「パン食い競争」にと童心に返って和気あいあいと半日を楽しみました。



山畑 6月7日第32回を数える区民運動会は、今年も煙火の号砲とともに始まり、小学校のよい子による駆けっこ競争から老人会の皆さんによるゲートボールリレーなど和気あいあいとした中で競技が進んでいきました。

朝がたはどんよりとした空模様でしたが、徐々に晴れ渡り、そよ風吹き渡る絶好の日和となりました。テントの中では和やかな会話と笑い声が絶えない一日でした。お疲れさま…



川西 6月14日(日)、農休みの午後のひととき、壮年会主催による恒例のボーリング大会が小・中学生、一般、老人会と、世代間交流となる参加者45名で、上野小田町のサンボールで盛大に開催しました。

ボーリングは誰でも出来るスポーツで、参加者は和気あいあいと2ゲームを楽しみました。その後は各種表彰を受け、また来年の開催を楽しみに家路につきました。



第1回壬生野地域産業見学会のお知らせ

産業交流専門委員会

壬生野地域の産業を知り交流していく趣旨で壬生野地域産業見学会を開催します。参加費は無料です。

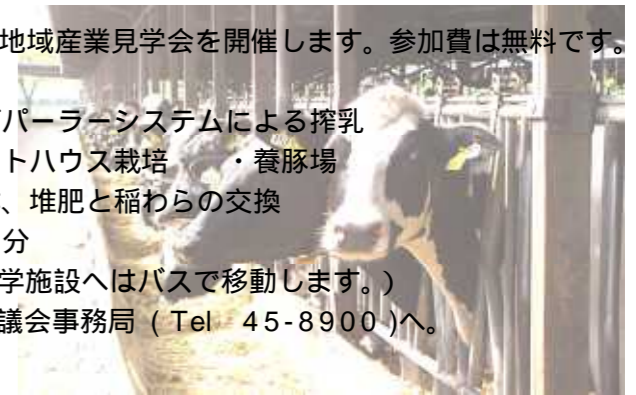
見学場所 ヤマギシズム春日農事組合法人

- ・フリーストール牛舎、ミルクングパーラーシステムによる搾乳
- ・平飼い有精卵鶏舎 ・ 野菜トマトハウス栽培 ・ 養豚場
- ・自給飼料 ・ 地域との循環農業、堆肥と稲わらの交換

開催日時 7月18日(土)午後2時～4時30分

集合場所 午後2時 ヤマギシズム駐車場(見学施設へはバスで移動します。)

参加申込 7月15日(水)までにまちづくり協議会事務局(Tel 45-8900)へ。



特集

できごとウオッチング

ノハナショウブ鑑賞会

6月11日、今にも降り出しそうなややこしい天候でしたが、壬生野小学校三年生の児童49名は、午前9時すこぶる元気に学校を出発。40分後に西之澤にある県天然記念物のノハナショウブ群生地に着きました。ノハナショウブを管理されている居附繁亀さんから「ハナショウブの原種で30年前この辺に工場が進出してきたため、父がこの田んぼに移植して増やしました。」との説明がありました。児童ら「苦勞したことは?」「一番うれしいことは?」の質問に、「暑い夏の日の雑草の草刈や草引きです。」「君たちがたくさん来てくれて楽しんでくれることです。」等々いろいろな質問に丁寧に答えられました。児童の皆さんは、可憐に咲いた花を楽しそうに写生したり感想文を書いてくれました。そして、10時40分頃、名残り惜しそうに現地を出発、一路学校に向け帰途に着きました。



いきいきサロンしらふじ会 80歳以上の集い

5月30日、山畑農事集会所にて民生児童委員(山中 亮さん)、福祉協力員(福島八重子さん)主催による催しがおこなわれました。対象者は79名いらっしゃいますが、当日は36名の参加があり、午前中は、いがまちマジック・クラブの皆さんによる「どじょうすくい、南京玉すだれ、マジック」などが披露され、昼食ののち、「木製パーツ組み立てあそび」やお茶お菓子を舌鼓をして一日を楽しみました。

長寿のお祝いと地域を育ててくれた感謝を込め、参加者一人一人には、民生委員さんが心を込めて製作した「瓢箪の置物」を、福祉協力員さんからは「バラのフラワーアレンジメント」が、また老人会折り紙遊びの皆さん作の「鶴亀の折り紙」がプレゼントされました。

参加者の皆さんは思わぬプレゼントに感激でした。



南京玉すだれ演技に見入る皆さん